

入学後すぐ、文理選択に関する講演からじっくり時間をかけて考えさせる

— 愛媛・県立 八幡浜高校 —

取材・文 / 永井ミカ



左から、
進路指導課
松本賢太郎先生
1学年クラス担任
馬詰直人先生
進路指導課長
山本章仁先生

School Data

創立1901年 / 普通科・商業科
生徒数751人(男子319人・女子432人)
進路状況(2012年度) / 大学進学72.5%・短大進学3.7%・専各進学11.9%・就職4.5%・その他7.4%
愛媛県八幡浜市松柏丙654
TEL 0894-22-2570
URL <http://yawatahama-h.esnet.ed.jp/>

商業学校として100年以上前に設立された八幡浜高校。現在も普通科と商業科を有しているが、ほとんどの卒業生が進学をする、地域でも有数の進学校だ。普通科では、例年1学年の9月に類型(私立文系・国立文系・理系)選択ガイダンスを行い、1月にはほぼ文理分けが決定していた。しかし近年、先生方には生徒が文理選択を考える期間が短いために、よく考慮しないで決めていっているのではないかという思いがあった。

外部による講演ならではの意識付けを

「気になっていたのが、つぶしがきくという理由でとりあえず理系を選択してしまうケース。具体的な目標がないと勉強にも身が入らない。最悪、3年生になるときに文系へ変更してしまいます」と言うのは進路指導課長の山本章仁先生。不景気が続くなか、保護者の資格取得指向もあり、漠然とした理系人気が続いていたそうだ。

そこで、入学ガイダンス時にリクルートによる文理選択ガイダンスを取り入れることにした。大学の学部・学科や仕事などについての講演を実施し、78の学問と533の仕事を紹介した『文理・科目選択応援BOOK』を配布。各クラスでワークショップにも取り組む。入学したばかりということで、事前アンケートでは「行きたい学校」や「学びたい学問」がある生徒は半分にも満たなかったが、講演実施後はそれら

について調べたいという意欲が生まれた。

1学年主任の馬詰直人先生は言う。「早くから考えてほしいという思いで入学直後に実施した講演ですが、内容的に早すぎるかもしれないという不安もありました。けれども高校に入学した安心感で急に勉強をしなくなったり、ギャップにとまどったりする生徒は多い。そういう時期に、進学を見据えた高校での学びについて学校外の人にきちんと語っていただけたのは、いい意識付けになったと思います」。

保護者の視野も広げ親子で悩んでほしい

2学期になり生徒たちが実際に文系か理系かを決めていく時期になると、しばらく続いていた理系人気にブレーキがかかり半々くらいの割合になっていた。「もちろん、なかなか決められない生徒もいます。けれども例年と違い、どう迷っているのか話すことができるので生徒の取り組みが

しっかりできていると思います」と1学年主任の松本賢太郎先生。

総合的な学習の時間を使い新たに文系学部や理系学部ではどのような学びや研究ができるのかを学ぶ時間も設けた。また、50人の職業人を紹介した『じぶん未来BOOK』を配布するなど、とにかく生徒に様々な情報を提供し、考え迷ってもらおうという取り組みを次々に行っている。「生徒から『いろんなことがしたくなかった』『たくさんありすぎて迷う』という声を聞くようになりました」と松本先生。「学校の勉強ができればいいという考えや受け身の姿勢では伸びない。たくさん選択肢から自分で選ぶ主体的に学んでほしい」と馬詰先生。

今後の課題は、保護者も巻き込み視野を広げること。「保護者が資格にこだわりストッパーになるケースもあります。親子でさまざまな可能性を広く考えてもらえるよう、保護者への働きかけもしていきたいと思えます」(山本先生)。

1学年 文理選択への主な流れ

4月	文理選択ガイダンス
5月	進路研究学習(大学入試について)
6月	教育講演会(社会人になる上での心構えについて)
7月	交流体験学習会(小学校・保育所訪問)
8月	模試分析会
9月	・類型選択説明会 ・進路研究学習(文理選択について) ・第1回進路希望調査・個人面談
10月	・進路研究学習(文系学部の紹介) ・進路研究学習(理系学部の紹介)
11月	・進路研究学習(医療系・学際系学部の紹介)
12月	・学部学科説明会 (2学年対象から1年生や保護者も参加可能とした) ・模試分析会 ・個人面談・保護者懇談会
1月	第2回進路希望調査→文理決定へ

文理選択講演後の調査より

● 夢を見つけよう、もっと調べようと思った	Yes 97%
● 仕事をもっと調べようと思った	92%
● もっと勉強しようと思った	92%
● 何かやる気がわいた	87%
● 目標に近づく方法を調べようと思った	85%
● 学問について調べようと思った	82%
● 選択科目について調べようと思った	77%
● 学校について調べようと思った	76%